

モニタリング結果報告書

施設	札掛森の家
指定管理者	企業組合 丹沢ホーム
施設所管課	森林課

(平成21年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月8日	5月8日	月報・電話で確認、改善すべき業務は無し
5月	6月10日	6月10日	月報・電話で確認、改善すべき業務は無し
6月	7月10日	7月10日	月報・電話・現地で確認、改善すべき業務は無し
7月	8月6日	8月6日	月報・電話で確認、改善すべき業務は無し
8月	9月3日	9月3日	月報・電話で確認、改善すべき業務は無し
9月	10月9日	10月9日	月報・電話で確認、改善すべき業務は無し

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

施設の設置目的を達成・普及振興させるため、モノ造り体験や自然観察等を行う自主事業を実施し、利用増を図る。

<実施状況>

参加人数

(単位:人)

	モノ造り 体 験	自然観察	研 修	合 計
4月	10	6		16
5月	19	31		50
6月	7	14		21
7月	12			12
8月	113	115	30	258
9月	23			23
合 計	184	166	30	380

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	16,892	16,392	500	0	16,892	0
上半期計 (a)	8,597	8,353	244 (294)	0	7,719	877
下半期計 (b)		8,039	(124)	0	—	—
4月	1,339	1,330	9 (17)	0	1,294	45
5月	1,392	1,363	29 (9)	0	1,141	251
6月	1,489	1,467	22 (12)	0	1,269	220
7月	1,394	1,374	20 (103)	0	1,374	20
8月	1,502	1,358	144 (139)	0	1,359	143
9月	1,479	1,461	18 (14)	0	1,279	200
合計 (a+b)		16,392	0	0	—	—

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

今年度の作業現場は徒歩範囲が多く燃料費が減となった。また、水道光熱費など諸経費については照明等のこまめな調整、無駄な水漏れチェックなどの努力により支出額減となった。

印刷物(自然マップ)は、昨年印刷した物を活用した。

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
- 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
- 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
その他	・	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

<p>指定管 理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ブログやタウンニュース等各種の広報誌でPRを積極的に行った。 ○ ラジオ、情報誌から「はじめての森林ボランティア」についての取材に対して情報提供を行うなど、情報発信に努めた。 ○ 展示品の作成、ポスターの作成を行った。 ○ 日帰り客に対するプログラムを企画・実施して、施設の利用促進に努めた。 (雨天時室内プログラムへの変更等の対応に努めた。)
<p>施設所 管課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上記のような指定管理者の努力によりリピーターも増え、今年度の利用状況は上半期前年比+5.6%と、増加している。 ○ 神奈川新聞「県民の窓」に、8月から自主事業の行事予定を掲載した。 ○ 横浜市の小学校より体験学習の一環として、森林体験の問い合わせがあった。(人数が多すぎるため他の施設を紹介した。) また、東海大学の教授と学生が来館、森の学校を体験した。(森林の育成活動を通じた、不登校児童、生徒の支援プログラムを計画、検討することとなった。)